

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：25002

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇札幌市の共通指標調査や教職員アンケートから、「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」の項目で高値を示している。</p> <p>◇研究実践発表会反省より、「もしも…」 「だったら…」と、自ら学びに向かう姿が認められた。「子ども同士でつながり、見いだした価値を使って、更に学びを進める姿」を大切にしながら日々の授業研究に臨んだ成果が表れた。</p>	<p>◇札幌市の共通指標調査や教職員アンケートから、「自分の意見を進んで発言しようとしている」「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」の項目が7割に留まっている。そのため、難しいと思うことであっても挑戦し、自分の意見をもって友達同士でつながり、学び合う風土を充実させていく必要がある。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市の共通指標の「人の役に立てて嬉しいと感じる」項目で9割を超える高値を示している。一方で、「自分が必要とされていると感じる」などの相互承認に関する項目において、7割にとどまっている実態がある。今年度も引き続き学校経営方針で「自分から 自分のために みんなのために」をキーワードとして掲げた。また、「三つのわ」(輪・話・和)を大切に、自分の考えをもち、友達との対話やつながりを通して、学び合い、自己有用感を高めていきたい。また、教科の授業だけではなく総合的な学習の時間の中での縦割り活動を通して、互いのよさを認め合い、価値付け合い、共に学ぶ場の好循環を大切にしていく。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

つながりながら学び進めること

	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
取組	<p>(1) 研究主題「つながる」 研究副主題「わかる、できる、楽しい授業」の実現</p> <p>(2) 子どもが課題を自分事として捉えることができるようなイントロダクション、単元構成、個別探究(教材とつながる)</p> <p>(3) 子どもが対話によって思考を再構成する協働探究(他者の考え方、表現、もしも→他者とつながる)</p> <p>(4) 子どもが価値を既習や未習、日常生活とつなげていくリフレクション</p>	<p>①学級ごとの挨拶のめあて 学級ごとに前学期の成果と課題から「挨拶」のめあてを話し合い、全校で共有する。毎学期繰り返し取り組んでいくことで、全校のみんなで「挨拶いっぱい学校」に向けて取り組んでいく。</p> <p>②委員会活動、さっぽろっ子サミット よりよい学校の実現に向けて、パートナー校同士でオンラインミーティングを行い、意見交換を行う。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<p>◇主に(3)や②について、ICT活用に関する実践交流を行い、子どもたちが授業や委員会、クラブ等でICTを活用するための指導につなげる。</p> <p>◇各学年の発達段階に沿って作成したICT年間学習項目を活用し、子どもたちが発達に応じてICT機器やアプリを適切に使えるようにふりかえる。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

